

Fukushima Suguru

# 福島 卓

福德不動産 社長



九州・沖縄を担うトップ群像

## 「長崎県央に新たな拠点の開設目指す」

### MEMO

- 1982年7月6日生まれ
- 長崎市出身
- 西南学院大経済学部卒  
大学卒業後、ダイワハウス工業入社。その後、祖父が興した福德グループに入社、2011年に社長に就任した。趣味は読書と旅行。17年2月には希望の長男が誕生し、ますます仕事にも力が入る。18年は妻、長女と4人で沖縄に家族旅行に出かけたいという。



2017年の社業を振り返ってみると、管理、仲介、売買、ほぼすべてで部門で目標に達し、増収増益を達成できた。社員たちが自分たちで考え、能動的に動くことができるようになったのが業績好調の要因の一つだ。おかげで私は採用活動や海外出張など、自分の仕事に集中できるようになった。外国人社員は18年も5～6人採用予定で、全社員に占める割合は10%を超えた。彼らの頑張りは日本人社員たちへのいい刺激にもなっている。社内が活性化してうれしい限りだ。

うれしいといえば、長崎市出島町に完成した公的機関のオフィスの管理受託ができたこともその一つ。雇用の場の創出を目指す行政は、県全体でオフィス誘致に力を入れており、今後もオフィスの数は増えるだろう。この物件の受託はいい実績になるはずだ。18年は長崎県内の県央地区に新たな拠点を設けたい。実現すれば県全域でよりきめ細やかなサービスを提供できるようになる。現在の管理戸数は長崎、佐賀、福岡で1万3000戸余り。18年は既存物件を充実させるなどして10%程度増やしたい。